

MRテキスト2018

疾病と治療

臨床

正誤表 統合版

(2022年6月)

頁	該当箇所	誤	正
4	左の上から16行目	国際頭痛分類（第3版β版）	国際頭痛分類（第3版）
8	右の上から25行目	錯乱状態などの表現は意識内容の変化についての質的評価である。	錯乱状態などは意識内容の質的な変化を表す。
23	左の上から7行目	脳幹の障害では眼振、複視、運動失調、めまい、起立・平衡障害、嚥下障害などの脳神経麻痺症状などの小脳症状を認める。	脳幹の障害では眼振、複視、運動失調、めまい、起立・平衡障害、嚥下障害などの小脳症状や脳神経麻痺症状を認める。
28	左の下から5行目	発症後8時間以内	発症後6時間以内
	右の上から4行目	発症後48時間以内	発症後24時間以内
62	左の上から4行目	高齢発症は少ない。	高齢発症は少ないが、まれではない。
65	左の上から9行目	テオフィリン薬	テオフィリン薬
66	右の上から1行目	7. 抗IgE抗体薬 IgEに対するヒト化モノクローナル抗体で、オマリズマブとメボリズマブがある。IgEを介した反応を抑制し、喘息症状の発現を抑制する。メボリズマブは、好酸球が増加しており、頻回の全身性副腎皮質ステロイド薬が必要なときに効果がある。	7. 抗体薬 抗体薬には、IgEに対するヒト化モノクローナル抗体のオマリズマブ、IL-5に対するヒト化モノクローナル抗体のメボリズマブおよびIL-5受容体に対するヒト化モノクローナル抗体のベンラリズマブがある。オマリズマブはIgEに特異的に結合し、好塩基球や肥満細胞などの炎症細胞の活性化を抑制する。一方、メボリズマブは好酸球の細胞表面に発現しているIL-5に特異的に結合し、好酸球の増加を抑制する。
89	欄外のSelf Check	急性肝炎の治療について概説できる。	急性肝不全の治療について概説できる。
93	左の上から8行目	肝内部超音波検査の不整	肝内部エコーの不整
112	図6-10	図中の矢印（↓）の不足	「骨密度がYAMの70%以下または-2.5SD以下」の囲みから「薬物治療開始」の囲みへ向かって矢印を入れる
	左の下から5行目	代表的なビタミンK ₂ 製剤にはメナテトレノンがある。	骨粗鬆症治療薬としては、ビタミンK ₂ 製剤のメナテトレノンがある。
113	右の下から6行目	プロスタグランジンE ₂	プロスタグランジンE ₁
119	表7-1「原疾患」の列	腎移植	移植腎
121	左の上から16行目	130/80mmHg以下	130/80mmHg未満
123	左の上から12行目	物理的狭窄	機械的狭窄
	左の上から13行目	機械的狭窄	機能的狭窄
130	右の下から4行目	日本透析学会	日本透析医学会
138	表8-6の解説文の注2)	LDL-C直説法	LDL-C直接法
147	右の上から1行目、3行目	TSH受容体刺激抗体	TSH受容体抗体
150	左の下から15行目	診断はまず触診を行う。	診断はまず甲状腺の触診を行う。
	右の上から10行目	起る	起こる
151	右の上から15行目	がんの転移による	がんの副腎転移による
157	左の下から2行目	筋肉内または経口投与	筋肉内または静脈内投与

頁	該当箇所	誤	正
160	図中	ブドウ膜	ぶどう膜
161			
162	右の下から5行目		
163	図10-2の図中文字		
	右の下から9行目		
165	右の下から2行目		
166	左の下から11行目		
163	右の上から2行目	そのうち約80%	そのうち約90%
165	左の上から5行目	角膜内皮が薄い場合は	角膜内皮が少ない場合は
	左の下から11行目	4つであるが、前述の検査はいずれも重要	4つであるが、いずれも重要
168	左の下から19行目	耳管を閉鎖させる病態やその機能の不全、気圧の変化などは病態を悪化させる。	耳管を閉鎖させる病態やその機能の不全の場合、航空機や登山などによる気圧の変化は病態を悪化させる。
169	左の上から1行目	真皮の病変であるため、	削除
172	右の下から5行目	2. 直接接触感染（性感染など）	2. 直接接触感染
173	図11-1	（中央下の囲み内）ワクチン投与	新生児へのワクチン投与
	左の下から9行目	インフルエンザウイルス、	削除
173	右の下から6行目	ツツガ虫病	ツツガムシ病
185	右の上から1行目、2行目		
179	右の下から7行目	核様体という二本鎖のDNAが核膜に囲まれず浮遊し、	環状二本鎖のDNAが核膜に囲まれず浮遊し（核様体）、
183	左の下から6行目	タンパク質	タンパク
184	右の下から9行目	a) 皮膚糸状菌（白癬菌）	a) 皮膚糸状菌（白癬菌など）
187	表11-4	MDR-TB：multidrug-resistant tuberculosis	MDR-TB：multi-drug-resistant tuberculosis
	右の下から8行目	（2007年に改正）。	（2007年に改正法施行）。
203	左の上から14行目	特に未分化がんは、どの細胞から発生したか不明ながん細胞で、増殖が速く、悪性度は最も高くなる。	特に未分化がんは増殖が速く、悪性度は最も高くなる。
210	右の下から14～13行目	分類される。（図12-4）。	分類される（図12-4）。
211	左の下から13行目	脳下垂体	視床下部
214	右の上から15行目	ネオアジュバント療法はがん病巣を縮小することで手術侵襲を軽減したり、全身転移を食い止めて治療成績を向上させることが目的である。	ネオアジュバント療法は完全切除が困難な腫瘍を縮小させて完全切除を可能としたり、切除範囲を小さくすることで術後の経過が良好になることを期待して行われる。
217	左の上から5行目	皮膚潰瘍の順に進行する。	皮膚潰瘍などの所見があげられる。
	左の上から7行目	受診するケースも多く、	受診するケースもあり、
	左の上から9行目	性状を確認する必要がある。	血性か淡黄色などの性状を確認する必要がある。
	左の下から8行目	早期の乳管内がん（非浸潤がん）であることが多いので、	乳管内がん（非浸潤がん）の可能性もあるので、
219	右の下から10行目	乳房切除術と同等になるようにするため、	乳房切除術と同等になるように、
220	左の上から14行目	術後化学療法（AC）	術後化学療法

頁	該当箇所	誤	正
228	左の上から1行目	が生じる,	が生じる.
	左の上から1行目	フィラデルフィア染色体が証明されれば診断確定される.	診断確定にはフィラデルフィア染色体の証明が必要となる.
	右の上から8行目	PET/CT	PET-CT